

○村松幸昌委員長 ただいまから予算決算審査特別委員会を開会いたします。

当委員会に付託された案件は1件であります。

議第50号「令和6年度焼津市一般会計補正予算（第4号）案」について審査を行います。

質疑、意見のある委員は、御発言を願います。

○奥川清孝委員 議案書の3ページ、4ページをお願いいたします。

2表の債務負担行為の補正についてですけれども、豊田地域交流センター地下貯留施設整備事業、それから、豊田地域交流センター整備事業、そして、関連して総合グラウンド陸上競技場耐震改修事業なんですけれども、入札の不落、不調というか、不落ということで、入札ができなかったということで、債務負担行為の限度額がそれぞれ増額になってきております。

そこで、市のホームページ等で一応、確認はちょっとさせてもらってはあったんですけれども、この入札の経緯と結果、それから、不落になった原因、分析をどのようにしているのかなというところ、そして、不落に当たっての審査委員会が開かれているようであれば、その意見等についてお聞かせいただきたいということ、それから、工期がそれぞれ12か月、19か月ということになっているわけですけれども、年度をまたぐということになると思うんですけれども、スケジュール的にその辺の影響がどうなのかというところ辺をお伺いいたします。

○増井 悟スマイルライフ推進課長 1回目の入札の、まず、関係でございますけれども、当初は4月23日に公告のほうを行っております。入札のほうは6月6日に行っております。結果的に、その入札の結果が不調になってしまったということでございます。予定価格に達しておりませんよということの不調でございます。

あと、今後のスケジュール的なものでございますけれども、今日のこの議決をもしいただければということでございますけれども、その後、入札の公告を7月12日、それから、入札自体は8月22日、仮契約につきまして8月29日頃を予定しております、できましたら、9月の議会の初日にまた契約の議案ということで出ささせていただければと思っておりますけれども、議決を経た後、本契約、こういった流れになってくるかなと思っております。

また、現場のほうですけれども、順調にいつてというあくまでも仮定になりますけれども、着手のほうは9月の中旬の着手、それから、工期のほうは今のところ、令和8年の3月10日前後を予定しております。

したがいまして、オープンにつきましては、その後引っ越し等もございますので、令和8年の5月から6月ぐらいになるのではないかとこのように考えているところでございます。

また、審査委員会の結果等につきましては、なかなか公表されている情報がないよということと、あと、不調の、例えば、応札者が何者いたよとか、そういった情報につきましては、2回目、今後の入札等もございますので、大変申し訳ございませんが、公表

のほうは控えさせていただければと思っております。

以上です。

○河守邦人スポーツ課長 お答えします。

総合グラウンド陸上競技場耐震改修事業の関係でございますが、こちらのほう、不落の原因につきましては、近年の物価上昇に伴うものでございますが、想像以上の物価高騰がありまして、まずは資材の高騰というものがああります。もう一点は、労働時間の週休2日によります、そちらのほうの高騰というものもああります、総合的に予想以上の物価高騰があったということが原因の1つかなと考えられます。

この工期の変更に伴う影響でございますが、当初、12か月の工期としておりまして、完了を令和7年の8月としておりました。今回の再入札に伴いまして、2か月から3か月程度、工期がずれることとなりますので、完了が11月前後になるかと思われまますが、大きな影響はないと考えております。

以上でございます。

○奥川清孝委員 分かりました。

そうしますと、これからの段取りもあるということで、あんまり細かな点はあれですけども、一応、原因とか分析をして、また、工期についても変更がない中でやるということを確認させていただいてよろしいですか。

○村松幸昌委員長 奥川委員、今のはどこの工事のことを言っていますか。

○奥川清孝委員 すみません。豊田地区のグラウンドのほうは12か月ということだものですから、グラウンドのほう、19か月の工期です。

○村松幸昌委員長 奥川委員、もう一度、豊田地域交流センター整備事業のほうのことなのか、総合グラウンド陸上競技場耐震改修事業なのか。

○奥川清孝委員 豊田交流センター整備事業についてです。

○村松幸昌委員長 それでは、当局、お答え願います。

○増井 悟スマイルライフ推進課長 先ほども御説明させていただきましたが、2か月ほど、入札のほうは若干ずれ込む形にはなりますが、それほど大きな影響はないものというふうに考えてございます。

以上です。

○岡田光正委員 同じく、債務負担行為並びに補正予算の事項別明細についてお尋ねしたいわけなんです、豊田地区交流センター整備事業に関しては、金額を上昇させて再入札ということであるわけですけども、総合グラウンド陸上競技場耐震改修事業のほうは全く金額が変わらないわけですよ。それで大丈夫なんですか。

○河守邦人スポーツ課長 お答えします。

総合グラウンド陸上競技場耐震改修事業の関係でございますが、設計のほうは再設計を行いますので、こちらのほうの金額は変更となりますが、予算的には当初予定した予算の中で収まるということで、予算の増額というものは今回行いません。

以上です。

○岡田光正委員 もともと、これ、耐震改修事業ですよ。それで、同じものを本来ならやるべきなのに、設計のやり直しとか、そういう形で価格を抑えるって、これ、大丈夫なんですか、本当に。

○河守邦人スポーツ課長 お答えします。

今回、設計を変更するのは耐震工事の内容を変更するものではなくて、若干の仕様の変更をしまして、耐震に関わる工事はこれまでと同様に実施しております。

設計のほうも先ほど説明したとおり、物価高騰に関わる部分は増額となる予定となりますが、そちらが、工事が、例えば、今回の豊田と比べて金額的に少ないものですから、増額となっても現計予算の中でカバーできるということで、今回、予算の増額というものは行いません。

以上です。

○深田ゆり子委員 同じく、3ページの債務負担行為なんですけれども、豊田地域交流センター地下貯留施設整備事業のほうは4,600万円の増額、変更後、豊田地域交流センター整備事業のほうは、金額的にはその倍以上ありますけれども、6,200万円ということで、この豊田地域交流センター地下貯留施設整備事業のほうは2.21倍とかなりの金額で、倍率的には高く設定されておりますので、これの地下貯留施設の工事、整備に関わる、主にどういうところがこんなに金額がかかる、物価高騰の影響を受けているということに当たるんでしょうか。

○南 昌広河川課長 お答えします。

今回、地下貯留施設につきましては、コンクリートの製品を使った地下貯留施設になっておりますので、そういったところの資材高騰が原因かと考えられます。

以上です。

○深田ゆり子委員 分かりました。

それで、今、コンクリートの資材の影響ということなんですけれども、今年8月から10月に電気とガスの物価高騰対策として補助、軽減がされるんですけれども、豊田地域交流センター整備事業のほうは、それが含まれるとまた金額が変わるとか、何か影響、影響というか、配慮というか、変更はあるでしょうか。

○増井 悟スマイルライフ推進課長 電気料とか燃料関係のことかなと思っておるんですけれども、その辺につきましては、特に大きな影響はないのかなというふうに考えているところでございます。

例えば、それ以外の鉄骨であるとか、そういったものの上昇については、かなり今回も配慮をして積算のほうをしておりますけれども、燃料関係につきましては、現在もかなり高騰はしておりますので、今後もそれほど大きい影響はないものというふうに考えてございます。

以上です。

○高澤 清公有財産課長 追加で答弁申し上げます。

今後、そういった電気料の関係で大きく変わるようなことがあれば、スライドの関係の変更をしていくと、私、思っておりますので、そういったことで対応する形になるかと思うんです。

以上でございます。

○村松幸昌委員長 ほかにありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○村松幸昌委員長 ほかにないようですので、質疑、意見を打ち切ります。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○村松幸昌委員長 討論を打ち切ります。

これより採決いたします。

議第50号は、これを原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○村松幸昌委員長 挙手総員であります。よって、議第50号は、これを原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、予算決算審査特別委員会に付託されました議案の審査は終了しました。

以上で、予算決算審査特別委員会を閉会いたします。皆様、大変御苦労さまでした。

閉会(9:48)